

山口情報芸術センター [YCAM] ダンス公演/ワークショップ

ホフェッシュ・シェクター「Political Mother (ポリティカル・マザー)」

2010年6月20日(日) 14:00 開演(開場は30分前) ※ポストトークあり

関連イベント(ワークショップ/公開イベント「トーク+ワークショップ成果発表会」) 6月19日(土)

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

英国発、世界が注目する急成長ダンスカンパニーが日本初上陸 エネルギッシュなダンス、響き渡るパーカッションを体感!

山口情報芸術センターでは、開館以来、世界的に注目を集める新進アーティストを招聘し、舞台表現の未来を見通す公演を開催しています。今年度は、イギリスを拠点に、近年目覚ましい活躍を見せる振付家、ホフェッシュ・シェクターを日本初紹介します。

前作が「今世紀以降、イギリスで創作された最も重要なダンス作品」と絶賛され、イギリスのダンス界の主演へと躍り出た振付家。その最新作「Political Mother」が、今回、イギリスでの5月初演から1カ月を待たず、YCAMに登場します。

こうした貴重な機会を広くご紹介するため、公演前日には、出演者を講師とするワークショップも開催いたします。

本作の大きな魅力である生演奏、そして音楽とダンスによるリズムが生み出す興奮を、公演、そしてワークショップを通じて、体感してください。

振付・音楽：ホフェッシュ・シェクター

出演：ホフェッシュ・シェクター・カンパニー(ダンサー11名 ミュージシャン8名)

チケット情報 [チケット発売：5月8日(土)]

料金：前売 一般：2,800円/any会員・特別割引2,500円/

25歳以下2,000円 当日3,300円(全席自由) ※当日は各種割引対象外



「Political Mother」(2010) ©Tom Medwell

関連イベント

申込受付中:

「リズム・ワークショップ」

6月19日(土) 10:00-13:40 (13:00-13:40は、成果発表会)

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB

講師：ヤロン・エングラール (ホフェッシュ・シェクター・カンパニー ミュージシャン)

対象：小学校4年以上～一般

定員：15名 参加無料 ※要事前申込

公開イベント:

「トーク+ワークショップ成果発表会」

6月19日(土) 13:00-13:40

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ

出演：ホフェッシュ・シェクター、カンパニーミュージシャン、

ワークショップ参加者

参加無料 ※日本語逐次通訳

ぜひこの機会に、取材や記事掲載ご協力いただけますよう、よろしくお申し込み申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 広報担当：廣田

TEL:083-901-2222 FAX:083-901-2216 e-mail:information@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp/>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

「"ホフェッシュ・シェクター"—この名を記憶せよ」—ニューヨーク・タイムズ紙

ダンスと音楽に包まれる圧倒的な興奮を、公演とワークショップで。

世界屈指のダンスカンパニーで活躍したダンサーにして振付家、ドラマーにして作曲家という多彩な才能をもち、いまやイギリスのダンスシーンを先導するホフェッシュ・シェクター。

その出世作となった作品「In Your Rooms」(写真上)は、「今世紀以降、イギリスで創作された最も重要なダンス作品」(オブザーバー紙)^{*1}という最大の賛辞とともに、300席の劇場で初演され、その6ヶ月後には1500席を完売へと導きました。一躍、国際的な脚光を浴び、現在、最もエキサイティングな振付家と称されるホフェッシュの紹介は、今回のYCAMでの公演が日本で初めてとなります。

公演作品「Political Mother」の大きな魅力は、8名ものミュージシャンが生演奏するパーカッションやギターの迫力、そして総勢11名のダンサーが高いテンションを保って踊る「ユニゾン(群舞)」にあります。舞台上で繰り広げられる音楽とダンスが会場を興奮で埋め尽くす様は、パフォーミングアーツの新たな扉を開く表現といえるでしょう。

**出演アーティストと地元の子どもたちが交流！
一緒に演奏を楽しみながら、**

リズムについて学ぶワークショップを開催

さらに、本公演にあわせ、YCAMでは、出演ミュージシャンを講師に、演奏を体験するワークショップを開催します。実際に作品に登場するフレーズをミュージシャンが演奏したり、参加者とミュージシャンが即興で演奏を楽しみながら、本作の重要なキーワードである「リズム」の力を発見していきます。

さらに、これらの成果を発表する機会として、ホフェッシュ・シェクターによる「トーク+ワークショップ成果発表会」を、公開イベントとして実施いたします。(詳細は、別紙をご覧ください)



「In your rooms」(2007) ©Ben Rudick



「Uprising」(2006) ©Gabriele Zucca



「Uprising」(2006) ©Andrew Lang

*1 2007年5月13日付

It's probably the most important new dance work to be created in Britain since the millennium

作品の見どころ

■ エネルギッシュなダンスと生演奏が生み出すグループ

ホフェッシュ・シェクターの作品を語るうえで重要なのが、彼自身が作曲を手がける音楽です。「ダンスだけでは創造欲が満たされなかった」というホフェッシュは、楽器のテクニックを学ぶとともに、演奏の研究もおこなっています。

振付の際、「ムーブメントのリズムをまず考える」という彼の言葉にあるように、爆発的で力強いパーカッションに彩られた音楽は、ダンスの鼓動、ダンサーや観客の身体のリズムを増幅させ、恍惚感をもたらします。その刺激的な音体験は、本作においても存分に観客を刺激するでしょう。

■ 鮮烈なシークエンスで描かれる現代の感情

ホフェッシュの代表作である「Uprising」(2006)、「In Your Rooms」(2007)の大きな特徴は、映画のジャンプカットのように、異なるシーンが断続的に、かつスピーディに繋がるシークエンスの構成にあります。洪水のような光に照らされた瞬間、暗黒と静寂に支配される舞台。ダンサーたちが精密なユニゾンを一斉に刻んだ次の瞬間には、崩れ落ち、混沌へと変化するダンス。こうした彼の作品におけるシークエンスは、繊細さと獰猛さ、集合と分散、緊張と弛緩など対立的な表現が併置されており、それは、まるで、豊かさと混乱に満ちた現代の感情の地平(= Rooms)を表しているかのようです。

「終わりに近づくにつれ、現実が薄紙のように曖昧になっていく」²

ホフェッシュは現在創作中の本作を、このような言葉で説明しています。攻撃的で同時に傷つきやすく、苦悩や矛盾に満ちた現代人の内的世界を、身体表現へと引き寄せてきた振付家は、その最新作でも、魅惑的で同時に哀しく、さらにシュールな世界観を表現するでしょう。それは私たちの<現実>に深く切り込み、価値観に揺さぶりをかけるに違いありません。

² Reality feels like thin paper as the end is nearing



「Political Mother」(2010) ©Tom Medwell



「Uprising」(2006) ©Ben Rudick



©Carl Fox

ホフェッシュ・シェクター | Hofesh Shechter

ダンサー、振付家、作曲家

エルサレム音楽ダンス学院(Jerusalem Academy for Dance and Music)を卒業後、パットシェバ舞踊団にてダンサーとして活躍。同時に、イスラエルにてドラムとパーカッションを学び、パリのAgostiny College of Rhythmにて研究をおこなう。2002年にはイギリスに移り、ダンス、演劇、ボディ・パーカッションなど、ヨーロッパを拠点に様々なプロジェクトに参加。

2003年に、作品「Fragments」で振付家としてデビュー。イギリスのみならず、フィンランド、イタリア、ポルトガル、韓国、ポーランドなどでツアーをおこない、第3回セルゲイ・ディアギレフ振付コンテスト(ポーランド)を受賞。2004年には、ヨーロッパのコンテンポラリーダンス振付家の登竜門のひとつ、The Place Prize(ロンドン)からの委嘱を受け6重奏「Cult」を発表。オーディエンス・チョイス賞を受賞し、以降、2006年まで、The Place of the Associate Artistsとして活動。2006年、「Uprising」(ロビン・ハワード財団委嘱)、2007年、「In your rooms」(ザ・プレイス、サウス・バンク・センター、サドラーズ・ウェルズ委嘱)を発表し、一躍、イギリスのダンスシーンの先導的地位を確立した。

2008年に、ホフェッシュ・シェクター・カンパニーを創設。同年のイギリスダンス批評家賞最優秀振付家賞を受賞。現在は、サドラーズ・ウェルズ劇場のアソシエイト・アーティストであり、ブライトン・ドームを拠点に活動している。

開催概要

ホフェッシュ・シクター「Political Mother (ポリティカル・マザー)」

2010年6月20日(日) 14:00開演(開場は30分前) ※上演予定時間: 50分

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

※終演後、ポストトークあり ゲスト: 稲田奈緒美(舞踊評論家)

主催: 財団法人山口市文化振興財団
 後援: 山口市、山口市教育委員会
 助成: ブリティッシュ・カウンシル
 平成22年度文化庁芸術拠点形成事業
 企画・制作: 山口情報芸術センター [YCAM]



宣伝美術: 阿部 剛(スタジオ・シーガル)

助成(カンパニー): Hofesh Shechter Company is supported by Arts Council
 England and British Council and is Resident Company at Brighton Dome



Supported by
**ARTS COUNCIL
 ENGLAND**



さいたま公演

6月25日(金) 19:30開演 / 26日(土) 15:00開演 /
27日(日) 15:00開演会場: 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1

お問い合わせ: 0570-064-939 (10:00-19:00)

<http://www.saf.or.jp/>

関連イベント

「リズム・ワークショップ」

6月19日(土) 10:00-13:40 (13:00-13:40は、成果発表会)

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB

講師: ヤロン・エングラ

(ホフェッシュ・シクター・カンパニー ミュージシャン)

対象: 小学4年生以上~一般

(音楽初心者向け。親子での参加も大歓迎)

定員: 15名 参加無料

※お使いの楽器がありましたら、ご持参ください。(パーカッションでなくても構いません)使用する楽器は、会場で貸し出しもいたしております。

公開イベント:

「トーク+ワークショップ成果発表会」

6月19日(土) 13:00-13:40

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ

出演: ホフェッシュ・シクター、カンパニーミュージシャン、ワークショップ参加者

参加無料 ※日本語逐次通訳

チケット情報

料金: 前売 一般: 2,800円 / any会員・特別割引 2,500円 /
 25歳以下 2,000円 当日 3,300円(全席自由)

[チケット発売: 5月8日(土)]

※当日は各種割引対象外

電話/窓口:

山口市文化振興財団チケットインフォメーション (YCAM内)

083-920-6111 (10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

インターネット:

<http://www.ycfcp.or.jp/> (24時間受付 ※要事前登録)

■特別割引

特別割引は、シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象。

■未就学児入場不可。

■託児サービス

対象: 0才(6ヶ月)以上

託児時間: 開演の30分前から終演30分後まで

料金: お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法: 6月13日(日)までにチケットインフォメーションまでお申し込みください。

■車椅子席・補聴システム

事前にお問い合わせください。